

1991年11月6日 発行

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

4 設立3周年
記念大会号

発行者 平形義人

発行所 ぐんま日独協会

〒371 前橋市三俣町3-11-12

☎0272-31-7212 FAX0272-32-4082



写 真

- ぐんま日独協会3周年記念大会
- 平成3年4月26日
- 東和銀行本店2階大会議室にて

□ハイマート大会記念号の主な内容

- 三周年記念大会詳報／あいさつ、祝辞、講演、会務会計報告その他
- ハース大使から表彰された人と団体
- 会員の動きあれこれと投稿
- 事務局だより／楽しいクリスマスの集い(12/1 PM2:00から群馬会館)、会費納入について投稿のお願い—ご意見、旅行記、文芸など。

題字：平形義人会長

ぐんま日独協会設立三周年に際して

ぐんま日独協会会長

平形義人

1988年4月17日前橋商工会議所でDr. H. J. HALLIER 駐日大使並びに御一家をお迎えして、県下の「ドイツ好き」300人が集って設立総会が開かれたのは、桜花爛漫の恵まれた日であって、未だ昨日のこの様に思い出される。実は、当時大使館の人達と雖も、日独交流が、この3年間に、今日の如く前進発展するとは、誰も想はなかったに違いない。それは大使来県に当たっての予備調査に、群馬県でのドイツ語学習の現状は？と言う一項目があったことでも解ります。東大を始め各大学のドイツ語学習塾が冷え切った時でありました。然るに群馬大会が、予期以上の大成功を取めたことは、如何に日独親善交流の根が群馬に於いても深く、期待が大きいかを示したものであります。

同年7月24日前橋中央公民館に於いて、第二回ぐんま日独協会総会が催され、会組織も整い、1989年4月16日群馬県民会館に於ける一周年大会には、R. E. JUNG 公使並に御家族と、ベルリン日独センター 初代総裁甲斐文比古氏が御来臨下され、1990年4月15日の二周年大会は群馬会館で催され、()日独協会副会長 江尻進御夫妻をお迎えし、ベルリン日独協会会長 G. パーシュや日独の桜の女王の御参加もあり、又第二部としてドイツ語の権威小塩節先生の「ベルリンの壁崩壊」のニュースを交えての特別講演も行われました。

この様に本会が発足運営することが出来たのも会員の皆様の「ドイツ好き」の根性に依ることは勿論であります。県に国際交流課が生れ、又昨(1990年)秋には(財)群馬県国際交流協会が設立され、東京には花王の会長であり本県にも関係深い丸田芳郎会長率いる(財)日独協会があり、又各地にある40の日独協会が集った全国日独協会連合会やドイツに於ける日独協会等々の御指導御協力があり、取り分け、在日ドイツ連邦共和国大使をはじめ、日独交流親善に尽された先達各位の御蔭であると「ぐんま日独」の名を以て感謝を捧げるものであります。

この三年の間に、ドイツの歴史は急展開を示しました。本会報第一号に「ドイツの管見」として井草憲太郎顧問が御指摘されましたが分裂国家の悲劇の表徴とした「柏林の壁」は陥ち(1989, 11.9)、悲願とされた「統一」が成り(1990, 10.3)、ケネディが「この壁は共産主義の敗北を示すのみ」と喝破した通りに、ソ連の共産党は解体しました(1991, 8.25)。会報3号の林健太郎東大名誉教授の「ドイツ統一の歴史的意義」の中に歴史家ハインリッヒ・フォン・ジーベルが「何によってか、我々はこのような盛時に遭うという神の恩寵を受けたのか」と感涙に咽んだことを引用されて居られますが、未曾有の歴史的転機が、今日TVにて臨場感を以て、同時に、目撃することの感動は、「ぐんま日独協会員」であるために、他の者より一層強いのではありますまいか。

1991, 7, ドイツ連邦共和国駐日大使 Dr. H. J. HALLIER はぐんま日独の発展を祈る言葉を残して、帰国され、9月WILHELM, HAAS



ハース大使ご夫妻と平形会長

大使が着任されました。11月30日の全国日独協会連合会で日本語を交えて挨拶され、ドイツ統一を一番喜んでくれたのは日本人だ。日独協会員こそ日独交流の最も重要な鍵だと言うと述べられた。ハース大使の父君も嘗つての駐日大使であり、1960年アデナウワー来日の時の案内は若きハース氏の姿であります。又ハース夫人は大の音楽理解者であります。音楽県群馬にとって、何かと御縁が深いことと存じます。1991, 4, のぐんま日独三周年大会の折桐生ガス社長塚越平人氏から桐生特産「うちかけ」が同夫人に贈呈されました。又'91年の2月には馴染み深いユンク公使が1ザイールの大使となられ、代って元在京ドイツ大使館東京経済部長 Dr. HANS-DIETER-SCHEEL が着任されました。東京のドイツの外交官もこの際大移動がありました。

あたかもこの時、ぐんま日独協会法人会の募集が始まり、1991, 1.25には、前橋東和銀行本店13階大会議室に於て、桂機械KK社長 関口陽二司会、会長挨拶、40社の法人会員の自己紹介、佐藤進一事務局長経過報告、小野里工業KK会長 小野里光明、閉会の辞、第一回会議がもたれ、夕映えの赤城の雄姿を眺めながら、本会の組織強化拡充を喜んだのであります。

さてここにおいて、発足より3年を経過し、法人会の加入に依り、会の運営も前途洋々、時代的環境も歴史的に最高の時を迎え、人材豊富の折柄、会長辞任届を3, 2, 提出、会の一新を願った次第であります。3.31, の理事役員会に於いて、統投を命ぜられ、1991, 4.26, 東和銀行本店大会議室(2階並びに13階)に於て、設立三周年記念大会・総会を別記の通りめでたく催すことが出来ました。

顧みれば、明治9年のエルヴィンレベツに始まったぐんま日独交流は昭和9年前後のブルーノ・タウトに依って極めて自然に浸透し、今や三代に亘ってドイツと深い関係にある会員があるかと思えば、昭和33年から3年間22歳から25歳までの独身時代を当時の花形産業石炭使節として選抜された方(対馬良一)1970年ドイツ イルゼンマイヤ先生をドイツのおばあちゃんと呼ぶ家族(杉本隆雄)1982, シュトゥットガルトで音楽指揮の体験を珠玉の思い出とされる(田上宏)1939年ヒットラー・ユゲント 答礼使節副団長を父にもたれる(伊藤肇平)その他群大の諸教授、本会の諸役員ぐんま日独会報に投稿して下さった方々だけでも、ここに尽すことが出来ないのであります。多数の方々が、商用に、観光に、又研究に、リクリエーション、ホームステイに又思い出を求めて安心して行き来する間柄となりました。従って、ドイツに未だ行かない人達も、大いに関心を持つ時代が来たのであります。

之等すべての人々と共に、日独交流の親善増進を、事務所も三侯に移し、大いに計りたいと希望しています。是非本会を御利用することを希って、御挨拶といたします。

平成2年度ぐんま日独協会収入支出決算報告書

佐藤事務局長挨拶

Guten Tag, meine Damen und Herren!

Es ist mir eine grosse Ehre und Freude, Sie alle hier zu sehen und die Jahresversammlung von unsrer Japanisch Deutschen Gesellschaft Gunma zu veranstalten. Heute haben wir einen herrlicher Gast, Geeheter Beutscher Botschaftsrat Dr. Schulte von Tokio. Er kommt nach Maebashi mit uns zu sprechen.

Da er gut Japanisch spricht, so koennen wir gluecklicherweise seine Rede direkt verstehen. Zuerst wird der Vertreter unsrer Gesellschaft, Herr Dr. Hirakata eine Ansprache halten. Also bitte Doktor. Hirakata!

収入の部		
項目	金額	説明
会費	740,000円	会費会員 2,000円×124人=248,000円 家族会員 500円×14人= 7,000円 法人会員 10,000円×40人=400,000円 2周年記念大会参加費 1,000円×85人= 85,000円
寄附金	106,000	5,000円×3人= 15,000円 20,000円×2人= 40,000円 50,000円×1人= 50,000円
計	846,000	
支出の部		
項目	金額	説明
会議費	187,700円	2周年記念大会費 130,750円 会議費他 47,950円
通信費	108,457	郵便切手他 106,457円
事務費	54,048	事務用消耗品代
印刷費	87,250	会報印刷代他
経理手数料	12,360	
その他	34,000	
計	481,813	

収入支出差引金 363,187円

◆ぐんま日独協会◆
設立三周年記念大会・総会

式次第

- AM 10:00 群馬県知事表敬訪問
10:30 前橋市長表敬訪問
及び 市内視察(グリーンドーム他)
12:00 群馬ロイヤルホテル9階〈こはくの間〉
来賓歓迎昼食会
- PM 2:00 【大会】 東和銀行2階大会議室にて
1 一同着席
2 国歌
3 ぐんま日独協会会長挨拶
4 ヴィルヘルム・ハースドイツ連邦共和国大統領祝詞
5 群馬県知事祝詞
6 (財)日独協会会長祝詞
7 表彰 及び 記念品贈呈 (ドイツ大使・日独協会会長)
(a)団体 草津町 山本 巖殿 (b)個人 朝雲久見臣殿
沼田ドイツ語会 角田 勤殿 白倉 卓夫殿
- 【総会】
1 議長選出
2 事業報告
3 会計報告
4 会則変更
- 【ドイツ・フォーラム】
◎講師 ドクター ヴィルフリート・シュルテ参事官
園田 和朗(財)日独協会副会長
(質疑応答)
- PM 3:30 <記念撮影>
PM 3:40 【祝賀パーティー】 東和銀行13階大会議室にて



Dr.シュルテ氏より表彰を受ける角田勤会長
(沼田ドイツ語会)

ドイツ大使表彰を受けて

沼田ドイツ語会 角田 勤

4月26日、ぐんま日独協会3周年記念大会の席上、私ども「沼田ドイツ語会」は因らずもドイツ大使表彰を受けました。

それは「12年に亘る市民ドイツ学習と来県ドイツ人との交流の功を称える」というもので、私どもにとってこの上ない名誉であります。

もとより山間の小都市の小さな集りであり何ら特別よい事をして来たわけではありません。ドイツ好きが集まって少しでもドイツの文化に触れたい、ドイツ語を覚えたいとの気持から楽しくやって来ただけです。しかし、私どものようなグループは全国的に非常に少なくて珍しいようです。

ドイツの統一が成りドイツが益々脚光を浴びようとしている今日、私どものような会が今後、県下あちこちに出来ることを願わずにはおれません。

表彰を機に私どもは更に発展を目指したいと考えます。ご推薦の労をとって下さった平形会長さんにお礼申し上げますと共に、今後とも皆様方のご指導を心からお願い申し上げます。

ヴィルヘルム・ハースドイツ連邦共和国大使祝詞

Dr. ヴイルフリート・シュルテ参事官(代理)

群馬日独協会創立三周年に当り、心より御祝い申し上げます。

ハース大使も貴協会の活動を高く評価しており、このことを皆様方に御伝えするよう申しつかつて参りました。皆様御承知の通り昨年はドイツ統一というドイツにとっては非常に重要な年でありました。このドイツ統一及びヨーロッパの将来に関するハース大使の考えを皆様方に本日お伝え出来ますことは私にとりましては大きな喜びとするものであります。

では大使のことはを代読させていただきます。

昨年は、歴史の動きが急激でした。ドイツの隣人達にとっただけではなく、ドイツ人自身にとってすら、ほとんど急激過ぎる位でした。我々は、今、自らを省みる時間を必要としています。

昨年という年は、ドイツ人に1945年以来分かれていた国土の統一をもたらしてくれました。私はこの場をかりまして、日本の皆様があのように心から、この出来事についての我が国国民の喜びを分かち合せて下さったことに、お礼申し上げたく存じます。

皆様お気付きのように、私はドイツ統一という言葉を使ったのでありまして、ドイツの再統一とは申し上げませんでした。再統一という概念は、以前の状態が再び作り上げられるという印象を呼び起こすでありましょう。しかし、ドイツの現実はそのようではありません。今日のドイツは、ビスマルクの時代とも、ましてや所謂「第三帝国」とも同じものではないのであります。ドイツは、第二次世界大戦の結果、ポーランドやソ連に対して、東方の広大な領土を失いました。しかし、我々にとっても、又、ヨーロッパの平和にとってもそれ以上に重要なことは、ドイツ統一が、今回は武力を行使することなく、全ての隣国の同意を得て達成されたことであります。

何度か、日本の皆様から、なぜドイツ人はもっと大々的に10月3日の統一の日を祝わなかったのか、と尋ねられました。この質問に対する答えを申し上げます：我々ドイツ人は、民族国家というものには数々の長所を持ち、世界からの様々な挑戦を克服するための力をもつものだとすることを、信ずることができなくなってしまったのです。

我々は我が国の統一をドイツ人の自己実現と見なすのではなく、全ヨーロッパの統合への途上での重要な一歩と見なしているのであります。

昨年、一つの歴史的なエポックが終わり、新しいエポックが始まるのが無かったら、ドイツ統一も無かったということ、我々は承知しております。

戦後の時代、そして東西対立の時代、冷戦の時代、そしてまたヨーロッパ兄弟戦争ともいべき時代が終わったのです。かわって新しく始まったのが、東西の協調であり、ヨーロッパの歴史の共通性の再認識であります。

この根本的変革は、特に、45年の間鉄のカーテンで仕切られていた国土に住むドイツ人には、まさに肌で感じられたのです。もちろん、戦後の時代の終わりがそのまま世界平和の始まりというわけではありません。このことは、湾岸戦争や第三世界の多くの国における飢餓問題を思い起こすだけでも、明らかです。

我が国は、これらの問題とヨーロッパの課題に取り組んでまいります。我が国はこれから先も、継続性と予測可能性を特徴とした政策を行ってまいります。確かに、ドイツは今回の統一により面積はほぼ半分拡大、人口は4分の1増加し、GNPは12分の1拡大します。

しかし、変化したことより変化しなかったことの方が多いためです：

我が国は今までECとNATOの信頼に足る一員でしたし、これから先もそうあり続けます。

我が国は、貴国日本と同じく民主主義的で自由な世界貿易のグループに属しており、これからもその一員であり続けます。我が国は日本の重要なパートナーでしたし、これからもそうあり続けたいと思っておりますし、また、そうあり続けることでしょう。我々ドイツ人は、国土の統一によってより大きな権力を得たとは考えておりません。むしろ、我々はより大きな責任を担うことになったのであります。この意味において我々は全力で未来の課題に対処し、その解決に貢献してまいります。

課題として特に挙げられますのは、

1. 欧州同盟の創設を目的としたECの強化と更なる発展
1. 全ヨーロッパにおける安定的かつ公正な平和秩序の構築

1. 自然という生活基盤及び人類の文化遺産の保護
という課題であります。

昨年末、ローマにおいて、EC諸国の首脳が集まり、二つの重要な政府間会議を発足させました。これはECヨーロッパの経済・通貨同盟と政治同盟の基礎を作るものであります。この試みと、1992年12月の域内市場完成とによって、我々は欧州政治の新しい決定的な段階を目指しているのです。日本にとっても、統一ヨーロッパに対し準備を行うことは、賢明な策と言えましょう。

なおかつ、我々はヨーロッパがドイツの東側の国境で終わっているわけではないということも忘れてはなりません。中央ヨーロッパ、東ヨーロッパそして南東ヨーロッパ各国

の人々はECの援助を頼っております。我々ドイツ人は特にこれらの人々に対し義務感を感じております。というのも、まさにポーランドやハンガリーの自由と民主化の幕開けが、もと東ドイツの平和的な革命を成功へ大きく導いてくれたからです。

我々は、『鉄のカーテン』を克服した今、ECのパートナーとともに、ヨーロッパの真ん中、それどころかドイツ自身の真ん中に、新たに貧富の差による境界線が固定化されるのを阻止してまいります。東ドイツの経済の再建は困難かつお金のかかる課題ですが、5年か10年あれば達成も可能でしょう。このための日本の援助を歓迎いたします。

中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、南ヨーロッパにおける経済改革が失敗すれば、ヨーロッパ全体にとって、そして我々にとっても悪い結果となりましょう。

パートナーシップの精神に基づき、我々はソ連および中央ヨーロッパ、東ヨーロッパそして南ヨーロッパをこういった難しい移行段階において、援助したいと考えております。我々はゴルバチョフ大統領の地位が危ないか否かについて、憶測したくはありません。むしろ我々は、彼が始めた様々な改革が成功するよう、するべきことをして貢献したいと考えております。我々の政府は、ゴルバチョフは信頼することの出来る人物であり、ソ連との経済協力は数々の困難な政治的争点を協調的解決に導く際の前提条件を改善してくれるということを経験いたしました。

長い間我々の政府は、より少ない武器でもってヨーロッパの安全と平和が保障できる様にと、努力いたしてまいりました。昨年、この道のりにおいて我々は決定的な進歩を遂げました。NATOとワルシャワ条約機構の両陣営の国々は、新しいパートナーシップを作ることに合意いたしました。お互いに潜在敵国と見なし合うことをやめたのです。双方が、強力な攻撃兵器の大幅な削減をうたう、ヨーロッパ内の通常兵器についての協定に署名したのです。これで今後ヨーロッパにおいては、大規模な攻撃行動や奇襲攻撃は不可能となりました。

世界政治においても統一ドイツには今後一層の責任がかかってまいります。我々はこの責任を、とりもなおさず国連の平和維持政策の枠内で一層の努力をすることにより、果たしていきたいと思っております。また我々は今後も、ますます深刻になる発展途上国の問題解決に寄与し、貧困と人口増加、そして環境破壊という悪循環を打ち破ることに力を注ぎたいと思っております。

こういった問題の克服にあたり、ドイツが特に緊密に協力していきたいと思っているパートナーの一つが日本であります。日本は我々の間では、友人としても、手本としてもまた競争相手としても大きな尊敬をあつめています。『競争相手』という言葉は、ドイツでは決して悪い響きをもっておりません。また、『日本叩き—ジャパンバッシング』という言葉は、日本において『ドイツ叩き—ジャーマンバッシング』という言葉が聞かれないように、知られておりま



Dr. ヴィルフリート・シュルテ参事官

せん。我々両国民間の深い信頼関係は、協調体制の絶えざる強化にとり素晴らしい基盤であります。

世界政治は今年更に協調へと向かうだろう、と私は固く信じております。そして、日本もソ連との関係の拡大に成功できるように、と祈っております。この東アジアにおいても戦後に終止符を打ち、日本をパートナーとして得ることは、ソ連の利益につながります。

まだ日本とECの間の対話も強化されなくてはなりません。1991年はこのためには、絶好の年です。ヨーロッパという理念は一層の飛躍と魅力を獲得してきました。その証拠に沢山の西ヨーロッパと東ヨーロッパの国々が加盟を希望しております。我が国の政府は、決して『ヨーロッパの要塞』とはならない共同体・ECにとって、日本は重要なパートナーであると考えています。これまで、ボンの我が国政府は東京の日本政府に対し、いつも耳を傾けてまいりました。この点が今後も変わらないよう、私もドイツ大使として力を尽くしてまいりたいと、思います。

御静聴ありがとうございました。



祝 辞

群馬県知事 清水 一郎

本日、ここに、ドイツ連邦共和国大使館ドクター・ウィルフリート・シュルテ参事官様の御臨席のもと、このように盛大に「ぐんま日独協会」設立三周年記念大会が開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

ドイツ連邦共和国と本県は、これまでも医学、芸術、スポーツ等の様々な分野で、長い交流の歴史を有してまいりましたが、この友好関係を一層発展させるため、昭和63年4月、「ぐんま日独協会」が関係各位の御尽力により、設立されましたことは、皆様とともに記憶に新しいところであります。その後、貴協会におかれましては、実に幅広い交流活動を、活発に展開されているところでありますが、殊に、昨年は、ブルーノ・タウト教授に関する著作の出版、ドイツ・ウルム市からの合唱団の招聘、並びに、日本ロマンティック街道協会によるドイツロマンティック街道への桜の植樹事業を積極的に支援されるなど、ドイツ連邦共和国と本県との友好促進に大きな貢献を果たされているところであります。

こうした着実な活動により、県民の日独友好親善に対する気運が、これまで以上に盛りあがってまいりましたことは、誠に喜ばしい限りであり、この間における平形会長さんをはじめとする関係皆様方の御努力に対し、このお席をお借りして、改めて敬意と感謝の意を表すものであります。

県といたしましても、急速に進展する国際化の中で、産業、経済はもとより、文化、学術、芸術、スポーツなどあらゆる分野にわたる国際交流を、県民の皆様と一体になって、推進して参りたいと考えております。

国際交流が幅広く展開して参りますには、何と申しましても、民間の皆様が主体・創造的活動にその中心的な役割を担って頂かなくてはならないと存じます。こうした活動を一層促進するための交流拠点として、本県では、昨年10月、財団法人群馬県国際交流協会が設立され、業務を開始したところでありますので、今後とも格別の御協力と積極的なご活用をお願い申し上げます。

ここに、ドイツ連邦共和国と本県との交流が益々活発に行なわれ、末永い友情が継続することを御祈念申し上げますとともに、貴協会の一層の御発展と御列席の皆様のお多幸をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

平成3年4月26日

6月12日に清水一郎知事がご逝去されました。
ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

(財)日独協会会長祝詞及び講演(要旨)

(財)日独協会副会長 園田 和朗

丸田芳郎会長は、群大工学部の出身でもあり、来県を希望されて居りましたが、たまたま、天皇陛下が花王工場見学と言うこととなり、本日私が代って参りました。

ぐんま日独協会が、3年前に結成されたことは、先見の明があったと申せます。ベルリンの壁の崩壊以来、ドイツへの関心が高まり、私共のドイツ語講習の受講者は倍加しています。

ブルーノ・タウトのことは私も昭和12.3年頃の高校時代から感銘していて、群馬に関係あるとは懐しく存じます。また昨年ドイツに参りましてハナ・ベルツの伝記(独語)を買いました。

私は大正8年生れで、2歳からドイツで幼稚園、小学校、中学一年まで育てられ、高校ではドイツ語を学び、東京銀行に就職して、ハンブルグの支店長 フライブルグ支店長等25年、ドイツで過し、今日日独協会副会長で長くドイツに関わってきました。一昨年ベルリンの壁崩壊の直後ベルリン日独協会60周年記念式に東京代表で参加しましたが、当時コール首相はドイツの統合プログラムを提唱して、英米仏より袋だたきに遇っていました。昨年4月には東独ではじめて自由選挙が行なわれ、民主主義政権が誕生し、7月には東独の通貨が廃止され、西独のマルクを東独に及ぼすこととなり、ソ連に対しても多額の経済援助を交換条件に統合を認めさせた。10月3日は、統合の政治的儀式でありました。12月全国総選挙が行なわれましたが、コールは東独では英雄扱で、東独に対して、統合により生活は低下させず、西独に対して、東独再建の資金は資本市場で調達し、増税しないと公約した。之が今日マスコミの攻撃するところとなっているが、東独の経済事情は嘗ては東欧圏の経済の模範生だった筈で世界11番目の工業国と言われたのであって、私も経団連ミッションで東欧視察に行き、東独が一番と思っていたが、全く警察国家は実情は分らない。東独の経済は思った以上にひどかった。生産効率は悪く、計画経済であるから採算を度外視して運営され、品質も悪く、東欧やソ連への輸出が止り、西には売れるものがない。農業でさえ、スーパーの牛乳でも西側のきれいなパック入りの方が売れる。然し東独地区の生産体制は崩壊したが購売力はマルクの1:1の交換で、以前より増して居り、例へば各家庭で、統合後は西独の中古車に買い換え、西独には中古車が払底し、西独の経済も潤い、ドイツ全体としては大変な景気刺戟となっている。4月1日現在西独から250億マルクの投資がすでになされ、毎月5万人が新規企業を起して(サービス業が多い)いる。どんどん淘汰が行なわれているのである。

今年3月OSTSEEのRuegen島に行った。美しい島で昨年迄は東独共産党幹部の保養地で設備超一流、白い砂浜と

松林のあるホテルであった。経営は民営となり、新規採用された従業員が、実に態度がよく、よく働く。東独国民は40年間の共産党支配で、すっかりやる気をなくしていることは、一面本当だが、チャンスさえ与えれば、矢張りドイツ人なんで、勤勉であり、よく働くことを眼のあたりにした。5年と言わず2～3年もすれば、上向きになる国であると言うのが、私の印象である。

質問：佐藤進一：東独の失業率について

答：園田和朗：日に日に増えている。恐らく今年後半には50%と言われている。ただ銘記すべきは失業と言っても失業手当の資金は西側から供給していて、実際には困らず、購買力も落ちないことである。

ぐんま日独法人会員

塚越氏へドイツ大使からの礼状



桐生ガス(株)の塚越平人氏よりドイツ大使夫人に贈呈された打ち掛を背にした(財)日独協会 園田副会長

Ihre geliebte Frau Tsukagoshi,

Über Herrn Dr. Schulte erreichte mich ein prachtvoller Hochzeitskimono aus Ihrer Meisterhand.

Das Kunstwerk in der großen Tradition japanische Brokatstickerei ist so wertvoll, daß ich es als Privatperson nicht annehmen dürfte. Ich nehme es daher mit tiefem Dank für die Deutsche Botschaft in Tokyo und für die in Tokyo lebenden Deutschen als Zeichen der freundschaftlichen Gefühle entgegen, die ein großer japanischer Meister für mein Land und Volk hegt. In diesem Sinne wird der Kimono einen Platz finden, wo er viele Augen und Herzen erfreuen und den Betrachtern die große Kunst seines Schöpfers bewundern lassen kann.

Im Namen aller, die sich an dem prächtigen Kimono erfreuen dürfen, möchte ich Ihnen für Ihre großzügige Schenkung von Herzen danken.

Mit freundlichen Grüßen bin ich
Ihr sehr ergebener

Wilhelm Haas

〔訳文〕

此度シュルテ参事官を通じ、御国の名匠の手になるまばゆいばかりの打ち掛けを頂戴致しました。

日本に伝わる織物の古い伝統を引き継いだこの芸術品は、私が一個人として一人占めするにはあまりにも立派過ぎるものです。そこで私はこれを恐着しつつ、日本の芸術家が我国と我が国民に寄せたあつい友情の印として、在京ドイツ大使館並びに当地に在住するドイツ人全てを代表して頂戴することと致しました。従いまして頂戴致しました打ち掛けは、大勢の方々の目と心を楽しませ、作者の芸術的偉大さに見る者が心打たれるような場所に置きたいと考えております。

この見事な打ち掛けを目にすることが出来る人々になりかわりまして、御厚情に厚く御礼申し上げます。

ドイツ連邦共和国大使 ヴィルヘルム・ハース



東和銀行13階大会議室にてパーティー風景

◆朝雲久兒臣氏のぐんま日独3周年記念個人表彰は別冊に掲載。

〔渋川ロータリークラブ主催〕

1991年7月11日渋川にてドイツ青年来日歓迎会に特別招待された平形会長の心暖まる歓迎スピーチをご紹介します。

本日、ドイツの若者二人の渋川市訪問は、初の公式訪問と言う訳であります。心から歓迎申し上げる次第でございます。

私は約33年前の1959年に、ドイツに参りまして大変御親切にして頂いた事を、今もって忘れることが出来ません。何とか御恩返しをしたい一念から、今、群馬日独協会会長をお引き受けさせて頂いている次第です。今日二人のドイツの若者を渋川ロータリーアンの皆様が公式にお招き下され、歓迎されて居るのを目のあたりにしまして、この二人はドイツに帰りましてからも、渋川を忘れることなく、生涯、日独親善交流の鍵となって下さる事と存じます。

心から渋川ロータリークラブの皆さまの御活躍に敬意を表し、御挨拶とさせていただきます。

1991年7月11日

群馬日独協会
会長 平形義人



オリバー・ウォルフ君、マルクス・シュラークス君
来日歓迎会 渋川にて (1991年7月11日)

表彰状

医学博士 白倉卓夫教授殿

あなたは 南独ビベラッハ市滞在記
「タンテ・マイヤー」を著し、これが
同市民の日本語学習の教科書となり
日独文化交流に深く寄与されました
その功を称え表彰します

ドイツ連邦共和国大使

Wolfgang Hübner

ぐんま日独3周年記念個人表彰

Die Rede beim Rotary Club Meeting 11. 07. 1991.
(Rotary Youth-Exchange Deutschland-Japan)

Sehr geehrter Herr Präsident Dr. H. Funabiki, sehr geehrter Herr Vorsitzender des Internationalen Dienstes der Shibukawa Rotary Kommission H. Ishizaka, sehr geehrter Herr Y. Horiguchi, und sehr geehrter Herren des Rotary Clubs Shibukawa!

Es ist für uns eine grosse Freude, dass Ihr Oliver Wolff und Markus Schlage aus Deutschland nach Shibukawa zu uns gekommen seid.

Vor 114 Jahren hat Dr. Erwin v. Bälz, Prof. von der Universität Tokyo, der Wohltäter der Japanischer Medizin, aus der Stadt Bietigheim-Bischingen in Deutschland, die heissen Quellen von IKAHO sehr oft besucht.

Vor 55 Jahren ist der Architekt Prof. Bruno Taut ungefähr 2 Jahre lang in der Stadt Takasaki gewesen. Er war ein sehr bekannter Architekt, der zur Bauhaus Bewegung gehörte und Siedlungen mit über 15,000 Wohnungen in Berlin gebaut hat.

Der Badeort IKAHO und die Stadt TAKASAKI sind Nachbarstädte von SHIBUKAWA-SHI.

Wahrscheinlich sind diese 2 historischen berühmten Menschen aus Deutschland manchmal durch die Stadt Shibukawa gekommen.

Leider gibt es keinen Schriftlichen Beweis dafür, dass sie in Shibukawa gewesen sind. Natürlich gibt es viele Leute in der Stadt Shibukawa, die viele Freunde in Deutschland haben, und deren Namen in ihrem Gästebuch haben. Zum Beispiel sind 1989 Minister R. E. Jung und seine Familie von der Botenschaft in Tokyo zu mir gekommen und haben Ihre Erinnerungen in mein Gästebuch geschrieben. Dr. Martina Nazarea von der Universität KYOTO ist eine gute Freundin von mir.

Aber das ist alles persönlich.

Heute macht ihr, Oliver und Markus, als Deutsche zum ersten Mal in der Stadt Shibukawa einen offiziellen Besuch.

seid also herzlich willkommen!

Dr. YOSHITO HIRAKATA
Präsident der Japanisch-Deutschen
Gesellschaft in Gunma.

◆ぐんま日独協会の会員の皆さんが各方面でご活躍しております。たくさんご投稿いただきましたが一部を紹介いたします。

最近の私どもの歩み (沼田ドイツ語会・日誌より)

- ◇ 長沢崇雄君 4月1日、名城大学理工学部ドイツ語専任講師として名古屋へ赴任。沼田出身のゲルマニストは星野広治氏(日大)、野中茂夫氏(信州大)に次いで3人目。ご活躍を祈ります。
- ◇ 213回例会 4月9日 会報136号発行
- ◇ 古藤架野さん ゲーテ・インスティテュートで勉強のため、4月20日、フライブルグへ出発。
- ◇ ぐんま日独協会3周年記念大会 4月26日 角田、村馬、青木、戸部、小林の5人が出席。会場設営や受付を手伝う。あまり広くもない会場に、空席が目立ち残念だった。大会でのドイツ大使表彰に感激、賞品として白倉先生の「Gruss Gott. Tante Mayer!」を10冊頂戴する。新生ぐんま日独協会の今後の発展を祈りたい。
- ◇ 日本ロマンチック街道「ビストラ」パーティ 4月27日(沼田公園)参加
- ◇ ミニ・ドイツ展開催 5月1日～6月30日(関口ココさき絵美術館にて)
因らざる表彰記念事業ということになった。ドイツの書籍、ポスター、資料、思い出の品などを会員が持ち寄り展示した。始めちょっと淋しかった展示も、次第に増えて1000点を越え、立派なものになり、見物人も多くなる。朝雲先生労作の「もうひとりのブルーノ・タウト」も評判。子供にも大人にも人気のあったのは鉄道模型、カックウ時計、オルゴールなどの動くものだった。会報「Deutsch für uns」を見て問い合わせもあり、その後、入会した人もあり、喜ばしい。ドイツ展は新聞各紙で紹介され、好評のため8月末まで延長した。
- ◇ 214回例会 5月10日 会報137号発行
- ◇ 215回例会 5月28日 会報138号発行
新会員山本幾彦君と伊与久充章君を迎える。
- ◇ 会員名簿作成
会員23人 特別会員2人 準会員6人 旧(休)会員(結婚・転勤など)8人
- ◇ ドイツロマンチック街道協会一行(12人) 6月2日
中沢三氏の案内で来沼した一行は沼田市役所、生方記念文庫、きり絵美術館などを見学。会員は各所で一行を歓迎、日頃鍛えたドイツ語を披露した。また昼食会(趣本)では、岡島章乃さんの挨拶ももちろんドイツ語のと琴演奏や日本舞踊が喝采を浴びた。
- ◇ 216回例会 6月15日 大理石材レストラン「ロマーノ」にて
「表彰」と「12周年」を祝っての晩餐会
各自が思い出や抱負を語り合い楽しい一夜だった。
- ◇ 217回例会 6月28日 会報139号発行
80を越えてなお盛んな現プロフェッサーの久々の名講義(動物の心)を聞く。
沼田ドイツ語会員が文法に強いのは先生のおかげ。
- ◇ 郷土紙「たがわ」に沼田ドイツ語会が紹介される。7月10日
問い合わせが2、3あった。
- ◇ 218回例会 7月13日 会報140号発行
ロータリークラブの夏季交換学生、リンデマン君とミューラー君が出席。また、発音の指導をしてくれた。発音は我々の最も弱いところだ。お喋りでは、松浦さんが通訳をやって下さり大助かり。
- ◇ 伊与久充章君 家族とヨーロッパへ発つ。7月15日。
ドイツではケルン郊外デューレンの弟さん宅に滞在。



新装なったブランデンブルク門上のカドリガ(撮影・角田副会長)H...3・8・23

- ◇ 角田勤君、青木達男君、ドイツへ発つ。8月22日
満200年を迎えたブランデンブルク門・カドリガを見上げ感慨無量。サン・スーシーで埋葬(8月18日)直後のフリードリヒ大王の墓に詣で、ライプツィヒではラウアーバックスケラーで乾杯し、念願のトーマス教会での礼拝に出席する。ワイマール・エルフルトでは文化の香りを存分に吸い、往時をしのぶ。その後、角田はポーテン湖畔ラドルフツェルへ向かい、昨年来沼のライマン氏を訪ね、静養。
一方、青木君はリュエデスハイムで深夜まで踊りまくり、その後ライン下り、ハイデルベルク、ロマンチック街道を楽しむ。
- ◇ 朝倉美幸さん 8月25日 前橋市民会館にてドイツトリトリサイタル
- ◇ 桑原俊夫君、和喜子さん ベネルックス・ドイツの旅へ発つ。ドイツでは、一昨年来沼しホームステイしたティモ君宅を訪ね、大歓迎を受けた。来年、沼田ロータリークラブの会長になる同君はあちこちのロータリークラブを訪問した。
- ◇ 219回例会 10月3日 会報141号発行
ドイツを旅した会員たちの土産話に花が咲く。

表 彰 状

沼田ドイツ語会 角田勤殿

沼田ドイツ語会は12年に亘り市民ドイツ語学習に努め“Deutsch für uns”を編集し、併せて来県ドイツ人との交流に積極的に参加された

その功を称え表彰します

ドイツ連邦共和国大使

Wilhelm Hehn

ぐんま日独3周年記念団体表彰

◆会員の方よりたくさんのご投稿をいただきました。出来るだけ皆さまのお便りを載せたかったのですが、紙面の関係上ごく一部となりました。次回に又ご紹介いたします。

ある総婦長の死

渋川市 本沢繁二郎

大宮日赤でインターンをしていた時である。あれから40年の歳月が過ぎたが、忘れない事件があった。当時、日赤病院には、看護課長(女)、総婦長、その下にいろんな婦長がいた(G・H・Qによる)。総婦長はわたしと同年であったが、看護婦のナンバー2で偉く見えた。バレーもやり、体つきも男のようで、われら4人のインターン生が、あれは嫁に行くまいと話していた。わたしが、「白衣を縫ってくれ」と言ったのも噂にならないと信じていたからである。

白衣を縫ってくれる約束をしたが、いつになっても、持って来ない。「まだですか」と言ったら、「先生はわたしのことを男みたいだと言っているから出来ているが渡さない」と言ったので、「どの医師もそう言っていますよ」と言ってやった。「わたしだって女だから、そのうち結婚しますよ」と言って、やっと白衣を無料で渡してくれた。にやっと笑っていた。そのうち、本当にその総婦長が結婚したので、医局の中で大評判になった。だれもまさかと思っていたことが現実になったからである。夫は建設業であった。

数か月後、腹が大きくなって、だれも妊娠したことがわかった。月満ちて婦人科に入院した。間もなく吐血をした。あの身体では、結核でもないしどうしたかだれもわからなかった。当時の事であるから、内科が診察したがわからなかった。出産近くになって、自分で胃潰瘍ではないかと言いついて、外科部長の診察があり、そうだという事になった。しかし、レントゲンもとれない。ただ出産を待った。やがて、玉のような男子出生。一週間たって、外科で胃のレントゲンを撮影し、おかしき影があるということになった。赤ん坊は主人の手で家に帰り、本人はそのまま入院生活を続けた。再度レントゲンで胃潰瘍と言われて手術ということになった。手術は順調に終わったが、少しも良くならない。食欲も出ない。吐血、下血が続いた。もう一度レントゲンを撮って、再手術になった。するとわずかの日数で胃癌と一目で判るようになっていた。当時は局所麻酔のみであったから、総婦長に聞えないように、そこ大きく、こっちはここまでというように、コッヘルやメスで、外科部長が指図しながら、大手術をした。胃はもう無い。彼女は安心した。看護課長は大きく胃を切除したから、ゆっくり回復するよう、あせってはいけなと注意していたが、外科部長に癌であることを告げられていたので困っていた。

病院の皆が見舞に行った。日々に弱っていくのが目に見える。毎日点滴と輸血で、喰べ物は口に入らなかった。

当直の夜は、本官の医師とわたしだったが、そんな晩になると、いつもわたしが総婦長の個室へやられた。「先生わたしの病気はなんですか」と聞かれて困った。「外科に聞いて下さい」と言うほかなかった(カルテは胃潰瘍)。そのうち死相が出て来るようになった。彼女はもう助からない

と感じたようだった。当直の夜、入っていくと「もう助からない。先生方や、若い看護婦や、看護学校(高看)の娘たちとバレーの試合をやったことが目に浮かんできて。それらがたった一年前であったのだから残念です。やっぱりわたしは結婚すべきではなかったのでしょうか。皆さんが思っていたように。」「そんなことはない。男の子が生まれたてではないですか。元気を出しなさい。」しかし、月余にわたって、水しか飲めない彼女の目には涙が流れるのみで、結婚前の男性顔負けの身体も骨ばかりになった。それから一週間、多くの人びとに囲まれながら骨と皮ばかりになって、静かに死んで逝った。人間というものは、花の生命は短いというが鬼軍曹みたいな総婦長でさえも、かくはかなく逝ってしまうのであろうか。年、26の冬のことである。



草津に寄せて

土屋喜代子(前橋)

☆一夜にて秋になりたる高原に

すがしき朝の光あびつつ

☆ゆく夏を今年も心におしみつ

頬につたわる高原の風

☆新しき草津の里のホールにて

綾なすひびき胸に残しつ



ボンの幼稚園にて

前橋市 古屋賀津子

未だドイツが東西に別れて居た或る夏のことでした。ボンの中心地に近い幼稚園に伝手を求めて、娘と2人見学に参りました。

園長先生は見るからにドイツの方らしい風格のある方でしたが、独語しかお話しに成れませし、私達は独語が解りませんでしたが、お若い金髪美人の先生が、英語で通訳して下さいだったので、お話しをうかがう事が出来たのです。不思議に思ったのは、庭に一人も園児が出て居ませんでした。排気ガスの害が子供に及ぶのを恐れて、運動場はすべて地下にあると言うのです。私が見た所、園のまわりに自動車を見る事もなく、空気が清々しく木も多かったのですが、日本だったらとてもそのような事を言っはられないなど、小さいことにも異った考え方があるものだと感じたものです。朝の登園にも、定刻迄は門をあけず、早く行って門前に長いこと立つのも、先生方のプライベートの時間を圧迫するので、好ましくないとお話してました。時間にルーズなのも良くないが、早すぎるのも他人に迷惑を掛けると言うのです。「郷に入っては郷に従え」というこぼがありますが、いろいろ話しを聞いて円滑におつき合いをすることが、大層必要な事だと、つくづく思われました。

会 員 紹 介 欄

◆本紙は千部発行。配布先は会員のほか県内外の著名人に発送、本欄をご利用下さい。

ぐんま日独協会法人会員名 (順不同・略敬称)

前橋市	岡島 徹 土金 琢治 榎本 敏一 齋藤 純雄 大山 高平 湯浅 忠男 小野里光明 石井 昌吾 家崎 智 高玉 真光 黒田とめ子 清水 澄	東京電力㈱群馬支店 群馬銀行 山種証券㈱前橋支店 富士オート㈱ 群馬トヨベット㈱ 群馬テレビ㈱ 小野里工業㈱ 石井設計㈱ 群馬県医師会 老年病研究所 清心幼稚園 群馬ロイヤルホテル	鴨志田 勉 前田 文雄 菱沼 俊夫 中村 宏 清水 健治 井田 毅 関口 陽二 池下 久雄 長 洋 関口 義夫 中村 鉦一 田中 敬明	NTT㈱前橋支店 東和銀行 偕成証券㈱前橋支店 群馬日野自動車㈱ グイハツ車体㈱ サンヨー食品㈱ 桂機械製作所㈱ 池下工業㈱ 前橋赤十字病院 赤城病院 清王寺薬局㈱ 群馬銀行前橋支店内 前橋西ロータリークラブ 群馬三菱自動車㈱ キリンビール高崎工場 小島鉄工㈱
高崎市	山口 桂司 藤田 登 小林 一雄 齋藤 民	高崎信用金庫 藤田エンジニアリング㈱ 小松総業㈱ 高崎第九合唱団	大崎 晴通 望月 湛 児玉 貴	岸 芳正 岸 病院
桐生市	塚越 平人 駒井 実	桐生ガス㈱ 東邦病院	岸 正路	かみつけ信用組合
渋川市	堀口 吉七	堀口商店㈱	萩原 栄一	萩原鉄工㈱
太田市	坂本 久治 本島 虎太	坂本工業㈱ 太田都市ガス㈱	藤野 道章	富士重工業㈱群馬製作所
伊勢崎市	岩瀬 朔雄 杉野 重巳	岩瀬産業㈱ 日本電子機器㈱	牛久保智昭	サンデン㈱
大間々町	星野 精助	星野物産㈱		
伊香保町	木暮金太夫	ホテル金太夫		
大泉町	津久井義孝	㈱宮津製作所		

平成3年10月現在

会 員 の 皆 様 へ

世界史を彩るドイツ統一は一気に日独関係の重要性を増させました。今こそ「ぐんま日独協会」も組織拡充強化が必要です。皆様の一致協力と御指導、御支援をお願いします。

三俣の事務所は10AM～5PMまで開いています。お立寄りご利用下さい。

尚会員名簿は1992. 3. 発送予定(同封郵便振替通信欄を資料とします。締切り12月末日。)新会員御紹介もよろしく。

※会費 個人会員3千円 家族会員5百円 法人会員 1口1万円